

木谷 恵子さん (島根県松江市出身)

2014 年度 1 次隊 日系社会青年ボランティア
派遣国：ブラジル 職種：日系日本語学校教師
2015 年 9 月 13 日 (日) 中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

日本文化の継承を応援

日系社会青年ボランティアとしてブラジルのサンパウロで日本語教師をしている。この日本語学校に通う生徒は主に日系人で 73 歳から 5 歳まで。幅広い世代の生徒たちそれぞれが持つ、学びの目標が実現できるようサポートしている。

「日本の小説が読めるようになりたい」と漢字を練習するのは 70 代の日系 2 世。30 代の 3 世は「日本企業で働きたい」と日本語能力試験を目指す。20

代の 4 世は「祖父母と日本語で話がしたい」と文法などを学んでいる。

学校ではさまざまな文化体験も実施している。新年に向け年賀状を、七夕には短冊にお願いを書いた。節分では日系 1 世の現地スタッフと太巻き作りに挑んだ。日系団体が行う文化祭では、私がシナリオを書き、生徒たちが移民をテーマにした劇を披露した。

普段の生活でほとんど日本語に接する機会のない彼ら。学校は、祖父母の祖国である日本の伝統文化を知ったり、日系人の友達と出会えたりと、自分は日系人なんだと実感できる場所でもある。

サンパウロには、すしや焼きそば、てんぷらなど日本食が豊富にあり、日本企業も多い。週末には各地で日本祭りが催され、太鼓や踊り、茶道などが人気だ。古きよき日本文化が大切に受け継がれていると感じる。生徒たちが日本語学習を通じ、ブラジル社会で信頼されてきた日系人としての誇りを持ち、地元へ貢献できるよう、現地スタッフと連携し力を尽くしたい。



ひな祭りに合わせ、作った飾りを掲げる生徒たち